

連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

自治体名: 酒々井町

会計: 連結会計

(単位: 千円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	30,622,429	固定負債	11,019,915
有形固定資産	25,837,827	地方債等	7,002,056
事業用資産	9,157,867	長期未払金	9,593
土地	3,466,555	退職手当引当金	1,340,356
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	-	その他	2,667,910
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	1,397,438
建物	13,771,887	1年内償還予定地方債等	648,112
建物減価償却累計額	-8,954,926	未払金	331,859
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	2,524,749	前受金	-
工作物減価償却累計額	-1,747,782	前受収益	111
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	143,747
船舶	71	預り金	273,541
船舶減価償却累計額	-71	その他	68
船舶減損損失累計額	-	負債合計	12,417,353
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	31,868,412
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	-9,107,603
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	97,384		
インフラ資産	15,830,510		
土地	4,248,927		
土地減損損失累計額	-		
建物	685,635		
建物減価償却累計額	-347,613		
建物減損損失累計額	-		
工作物	17,199,124		
工作物減価償却累計額	-6,990,260		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	1,034,696		
物品	3,128,246		
物品減価償却累計額	-2,278,795		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	1,334,979		
ソフトウェア	23,460		
その他	1,311,520		
投資その他の資産	3,449,622		
投資及び出資金	528,255		
有価証券	10,250		
出資金	518,005		
その他	-		
長期延滞債権	261,922		
長期貸付金	103,709		
基金	2,585,592		
減債基金	-		
その他	2,585,592		
その他	547		
徴収不能引当金	-30,403		
流動資産	4,555,710		
現金預金	2,955,320		
未収金	354,206		
短期貸付金	142		
基金	1,245,841		
財政調整基金	1,155,171		
減債基金	90,670		
棚卸資産	1,557		
その他	2		
徴収不能引当金	-1,357		
繰延資産	23	純資産合計	22,760,809
資産合計	35,178,162	負債及び純資産合計	35,178,162

連結行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名:酒々井町

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額
経常費用	12,803,953
業務費用	5,099,390
人件費	2,169,777
職員給与費	1,746,072
賞与等引当金繰入額	142,932
退職手当引当金繰入額	37,290
その他	243,484
物件費等	2,724,724
物件費	1,628,997
維持補修費	148,680
減価償却費	946,964
その他	84
その他の業務費用	204,889
支払利息	75,694
徴収不能引当金繰入額	-6,080
その他	135,275
移転費用	7,704,563
補助金等	7,022,094
社会保障給付	675,650
その他	6,819
経常収益	1,493,856
使用料及び手数料	1,037,562
その他	456,293
純経常行政コスト	11,310,097
臨時損失	23,992
災害復旧事業費	-
資産除売却損	21,593
損失補償等引当金繰入額	-
その他	2,398
臨時利益	1,687
資産売却益	104
その他	1,583
純行政コスト	11,332,403

連結純資産変動計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名:酒々井町

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	22,800,707	31,676,609	-8,875,902	-
純行政コスト(△)	-11,332,403		-11,332,403	-
財源	11,646,663		11,646,663	-
税収等	7,602,088		7,602,088	-
国県等補助金	4,044,576		4,044,576	-
本年度差額	314,261		314,261	-
固定資産等の変動(内部変動)		743,107	-743,107	
有形固定資産等の増加		1,384,092	-1,384,092	
有形固定資産等の減少		-953,646	953,646	
貸付金・基金等の増加		1,819,535	-1,819,535	
貸付金・基金等の減少		-1,506,874	1,506,874	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	15,107	15,107		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-342,483	-577,849	235,366	-
その他	-26,782	11,438	-38,221	-
本年度純資産変動額	-39,898	191,803	-231,701	-
本年度末純資産残高	22,760,809	31,868,412	-9,107,603	-

連結資金収支計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名: 酒々井町

会計: 連結会計

(単位: 千円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	11,675,128
業務費用支出	3,970,565
人件費支出	2,124,559
物件費等支出	1,641,466
支払利息支出	75,694
その他の支出	128,846
移転費用支出	7,704,563
補助金等支出	7,022,094
社会保障給付支出	675,650
その他の支出	6,819
業務収入	12,851,531
税収等収入	7,627,103
国県等補助金収入	3,886,251
使用料及び手数料収入	1,018,874
その他の収入	319,303
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	239
業務活動収支	1,176,643
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,575,311
公共施設等整備費支出	1,534,837
基金積立金支出	1,019,819
投資及び出資金支出	17,655
貸付金支出	3,000
その他の支出	-
投資活動収入	911,972
国県等補助金収入	242,531
基金取崩収入	666,431
貸付金元金回収収入	5,897
資産売却収入	-6,134
その他の収入	3,246
投資活動収支	-1,663,339
【財務活動収支】	
財務活動支出	949,326
地方債等償還支出	716,497
その他の支出	232,828
財務活動収入	996,284
地方債等発行収入	979,080
その他の収入	17,204
財務活動収支	46,959
本年度資金収支額	-439,738
前年度末資金残高	3,099,321
比例連結割合変更に伴う差額	22,172
本年度末資金残高	2,681,756
前年度末歳計外現金残高	195,454
本年度歳計外現金増減額	78,110
本年度末歳計外現金残高	273,564
本年度末現金預金残高	2,955,320

連結財務書類 注記

1 重要な会計方針

有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、取得原価が不明なものは、再調達原価としています。

なお、一部の連結対象団体（地方公営企業会計適用団体）においては、原則、取得原価としています。

有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………該当事項はありません。

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………該当事項はありません。

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………該当事項はありません。

イ 市場価格のないもの……………出資金額

棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっています。

有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 15年～50年

工作物 10年～60年

物品 3年～15年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。ただし、一部の無形固定資産は非減価償却資産であり、減価償却は行いません。

③ リース資産

- ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
…自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
- イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
…リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

該当事項はありません。

② 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により計上しています。

② 退職手当引当金

地方公共団体財政健全化法における退職手当支給額に係る負担見込額算定方法に従っています。

③ 損失補償等引当金

地方公共団体財政健全化法における損失補償債務等に係る一般会計等負担見込額算定方法に従っています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末・勤勉手当のうち、全支給対象期間に対する本年度の支給対象期間の割合（4/6か月）を乗じた額を計上しています。

リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています（少額リース資産及び短期のリース取引には簡便的な取扱いをし、通常の賃貸借に係る方法に準じて会計処理を行っています）。

資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いも含まれます。

消費税等の会計処理

一部の会計及び関連団体を除いて税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

（1）会計処理の原則

総務省「新地方公会計の推進に関する研究会」報告の「新統一的な基準」に基づく、財務書類の作成を行っています。

3 重要な後発事象

該当事項はありません。

4 偶発債務

該当事項はありません。

5 追加情報

連結対象会計

団体名	区分	連結の方法	比例連結割合
千葉県市町村総合事務組合 (一般会計 退手以外事業)	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.49%
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治研修センター特別会計)	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.47%
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県市町村交通災害共済特別会計)	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.47%
千葉県後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.37%
佐倉市、酒々井町清掃組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	11.93%
印旛衛生施設管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	4.60%
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	10.49%
印旛利根川水防事務組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	4.84%
佐倉市、八街市、酒々井町消防組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	10.97%
印旛郡市広域市町村圏事務組合 (一般会計等)	一部事務組合・広域連合	比例連結	4.53%
印旛郡市広域市町村圏事務組合 (水道用水供給事業会計)	一部事務組合・広域連合	比例連結	5.67%

連結方法は次のとおりです。

- ・一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。

出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入とし、一部合計値と不一致があります。

売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア 範囲

普通財産のうち活用が図られていない公共資産。

イ 内訳

該当事項はありません。